

西欧の文化を発展させたルネサンス

中世末期の危機的状況から生まれた「再生・復興」の運動

14〜16世紀にかけて、ヨーロッパで展開した新しい文化創造の運動をルネサンスという。これは「再生・復興」を意味するフランス語で、この運動がギリシアとローマの古典古代の文化に範をとる姿勢をはっきりもっていたことからきている。そしてこれは、神(教会)を中心とした中世的な世界観からの解放と、新しい時代の幕開けを告げるものとなった。

中世末期のヨーロッパはペストの大流行や飢饉、百年戦争などの戦乱で人口が激減し、社会全体が危機的な状況にあった。そんななかで人々は生と死について深く考え、いかに生きるべきかを強く意識するようになった。また、神と人間の関係についても、旧来の価値観にとられない新しい考え方を生み出していった。こうして神中心の中世的世界観とは異なる、人間中心の能動的・世俗的な世界観が形成されたのである。

人間中心の世界観を展開したルネサンスの知識人が、その拠り所としたのが古代ギリシアとローマの古典であり、文献学的研究による原典の正確な理解を通して、人間性を磨き、教養を深めた。このような知的姿勢、または知的潮流を人文主義という。

ルネサンスは、古代ローマの文化遺産が数多く残り、東方貿易で繁栄したイタリアの諸都市で始まった。フィレンツェの大商人メディチ家をはじめとする富裕な市民が、パトロンとなって芸術家や学者を保護し、のちにローマ教皇が学芸の保護者となった。そのもとでレオナルド・ダ・ヴィンチやミケランジェロなどの天才が活躍し、数多くの傑作を残した。

ルネサンスはまず、古代ローマの文化遺産が数多く残り、東方貿易で繁栄したイタリアの諸都市で始まった。フィレンツェの大商人メディチ家をはじめとする富裕な市民が、パトロンとなって芸術家や学者を保護し、のちにローマ教皇が学芸の保護者となった。そのもとでレオナルド・ダ・ヴィンチやミケランジェロなどの天才が活躍し、数多くの傑作を残した。

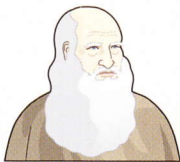
また、ルネサンスは実用的な分野でも革新的な成果をもたらした。とくに活版印刷術の発明や、火薬・羅針盤の改良・実用化は、その後の人類の歴史に大きな影響を与えた。



イタリア=ルネサンスの展開

イタリアの都市から広まった、ルネサンスの運動によって、西欧の文化は大きく発展した。

イタリア=ルネサンスの開花



レオナルド=ダ=ヴィンチ
1452~1519年。
イタリアの画家、科学者。ルネサンスを代表する「万能の人」として、美術だけでなく科学・技術のあらゆる分野に才能を発揮した。代表作は「モナリザ」「最後の晩餐」。

- 文学**
ダンテ、ペトルカ、ボッカチオなど。
- 絵画**
ジョット、ポッティチェリ、レオナルド=ダ=ヴィンチ、ミケランジェロ、ラファエロ、ティツィアーノなど。
- 彫刻**
ミケランジェロ、ドナテルロなど。
- 建築**
ブルネレスキ、ブラマンテ、ミケランジェロなど。
- 思想・科学**
マキアヴェリ、ブルーノ、ガリレイなど。

古代ローマなどの文化遺産が豊富

ローマ帝国の中心であったイタリアには、古典古代の文化遺産が豊富に残されていた。

富裕な市民がパトロンになる

富をたくわえた市民がパトロンとなり、芸術家や学者に活動の場を与えた。

東方貿易の発展 商工業の発達

ビザンツ帝国の衰退・滅亡 (15世紀中ごろ)

ビザンツ帝国 (p.72) の滅亡前後に、多くの学者がイタリアに移住した。

その他のルネサンス

- フランス**
ラブレール(文学)
モンテーニュ(文学)など。
- ドイツ**
デューラー(絵画)
ホルバイン(絵画)
ケプラー(科学)など。
- イギリス**
チョーサー(文学)
トマス=モア(思想)
シェークスピア(文学)など。
- スペイン**
セルバンテス(文学)
エル=グレコ(絵画)など。



ネーデルラント(オランダ・ベルギー)では、商業や毛織物工業で繁栄していたブリュージュやアントワープを中心に、15世紀初頭から文化が開き、油彩画法を確立したファン・アイク兄弟、人文主義者エラスムス、農民出身の画家ブリューゲルなどが活躍した。

また、ポーランド人のコヘルニクスが最初に唱えた地動説は、天動説をとるカトリック教会と衝突し、これを証明したガリレイは異端審問にかけられた。

イタリア以外のルネサンス

Key Word

メディチ家

イタリアのフィレンツェの名家。ジョバンニ=ディ=ピッチがメディチ銀行を開業してから繁栄しはじめた。15世紀にはジョバンニの子コジモとその孫ロレンツォの下で最盛期を向かえ、学芸の保護者としてルネサンスに大きく貢献した。2人のローマ教皇を輩出したほか、フランスのアンリ2世に嫁いだカトリーヌ=ド=メディシスも同家出身である。